

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	地域福祉センター維持管理事業			会計	款	項目	大	小
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者支援課			
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり		主管課長	石井 由美子			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	地域福祉センター	意図	市民が安心して安全に施設利用できるよう維持管理に努める
事業内容	指定管理者制度により管理委託している地域福祉センターの施設維持管理費の執行事務			
事業開始から現在までの状況変化	市民福祉の増進及び福祉意識の高揚を図るため地域福祉センターを設置し、高齢者及び障害者のデイサービスを行うとともに、福祉に係る各種研修等を行う場の提供に努めた。少子高齢化社会にあって、今後益々地域福祉センターの果たす役割は大きくなるものと考えている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	施設予約システム支払事務	12	12	12	
②	建物損害保険支払事務	1	1	1	回	→→	
③	利用者数	12,419	10,805	11,365	人	↗↗	
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
施設の維持管理に必要な施設予約システムプリンター賃貸借料、建物損害保険料、ネットワーク通信料、消耗品費である。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	1,243,974	345,660	344,791
事業費(b)(円)	1,106,674	211,420	212,951
うち一般財源	1,106,674	211,420	212,951
職員給与費(c)(円)	137,300	134,240	131,840
人役・職員(人)	0.02	0.02	0.02
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	指定管理者と連携を図り、適切な施設維持管理に努める。	③取組における課題(Check)	利用者に快適に利用いただけるよう管理について適切に助言指導を行う。
②H30に実施した取組(Do)	施設の維持・管理のため、必要最小限の維持管理費を支出した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	指定管理者との連携を図り、利用者アンケート等を踏まえ管理事務について適宜助言指導を実施していく。